

豊田市民芸館 企画展

美しき手仕事 – 新収蔵品を中心に –

- [会 期] 令和6年4月9日(火) – 6月30日(日)
[会 場] 豊田市民芸館 第1・第2民芸館
愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
[開催概要] 開館時間 午前9時30分 – 午後5時
休 館 月曜日
ただし祝日(4月29日、5月6日)は開館
観 覧 料 一般300円 高大生200円
中学生以下と豊田市内在住の70歳以上、
障がい者は無料(要証明) ※その他減免あり
主 催 豊田市民芸館



胡桃手提げ籠・山葡萄手提げ籠 上村健三

[展示概要]

本展では、「美しき手仕事」をテーマに、近年収集した手工芸品や寄贈を受けた資料を中心に紹介します。第一民芸館では、日本民藝館展(年に一度開かれる全国公募の新作工芸品展)の優品、絞り染めなどの染織品、手漉き和紙やざげち(切り紙)などを展示。第二民芸館では、故高松静男氏が収集したアイヌの工芸品や瀬戸の石皿、そば猪口など、300点を超える資料の受贈を記念して、多数の優品が含まれた高松コレクションの中から厳選した作品を紹介します。

民藝運動の創始者・柳宗悦(1889-1961)は、著書『手仕事の日本』のなかで、「手はただ動くのではなく、いつも奥に心が控えていて、これがものを創らせたり、働きに喜びを与えたり、また道徳を守らせたりする」と語りました。この展覧会を通じて、こうした手による仕事がいかに大切な意味をもつのかを、あらためて省みる機会となればと思います。

出品点数 約150点

[関連プログラム]

当館ホームページを随時更新します。

[同時開催]

「本多静雄の眼」展

会 場：豊田市本多記念民芸の森・田舎家 (愛知県豊田市平戸橋町石平60-1)

会 期：令和6年4月4日(木) – 6月16日(日)

観覧料：無料

※日程や内容に変更が生じる場合があります。最新情報および関連事業の詳細については当館ホームページでご確認いただくが、電話にてお問合せください。

・展示内容に関するお問い合わせ
担当：都筑(つづく)

・広報画像提供に関するご依頼
担当：佐敷(さしき)

〒470-0331

愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

Tel:0565-45-4039

E-mail:mingeikan@city.toyota.aichi.jp

Fax:0565-46-2588

豊田市民芸館

「美しき手仕事 -新収蔵品を中心に-」広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は以下を記入の上、Fax か e-mail でお送りください。



送り先：豊田市民芸館 佐敷（さしき）

Tel:0565-45-4039 Fax:0565-46-2588 e-mail:mingeikan@city.toyota.aichi.jp

お名前		様
ご所属		
Tel		
Fax		
e-mail		
掲載紙/メディア名		
発売、放送予定日（雑誌の場合は〇月号）		
必要な画像等の番号		
必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）*		枚
鑑賞券の送付先*	〒	

* 読者プレゼント等のため希望する場合のみご記入ください。

広報用貸出画像 作品キャプション

<p>1</p>  <p>胡桃手揚げ籠・山葡萄手揚げ籠 上村健三</p>	<p>2</p>  <p>吹きガラス大皿 石川昌浩</p>	<p>3</p>  <p>絹格子着尺 青田美穂</p>
<p>4</p>  <p>榊細工散し皮縦貼茶筒 米沢研吾</p>	<p>5</p>  <p>打掛一斗五升甕 坂本拓磨</p>	<p>6</p>  <p>アイヌ切伏衣裳[高松コレクション]</p>
<p>7</p>  <p>菖蒲文石皿[高松コレクション]</p>	<p>8</p>  <p>馬文そば猪口[高松コレクション]</p>	<p>資料の使用には以下の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。・ ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日 年 月 日

画像送付 校正 修正 配信・配本